

自己評価結果公表シート(令和4年度)

1、本園の教育目標及び教育方針

『一人ひとりを大切に考え、様々な体験の中から「可能性」を引き出し、「心」を育む教育』をモットーに自由で伸び伸びとした個性ある子どもに育つよう、子ども達も先生達も楽しみながら日々活動しています。また、当園は『遊んで学ぶ』を教育方針として、遊びから子ども達の可能性を広げていく教育を行っている。

2、本年度、重点的に取り組んだ目標・計画

- I. 新型コロナウイルス感染者数も少しずつ減少傾向にあり、保育内容や行事内容をただ感染拡大前に戻すのではなく、在園児にとってより成長を促すことができる教育内容を職員間で話し合い検討する。
- II. 子どもたちが柔軟な思考を持てるよう、子どもたちが保育を「こなす」ではなく自ら「考える」機会を増やした保育に取り組み、自主性を高めるような教育活動に取り組む。

3、評価項目の達成及び取組状況ならびに今後の課題

安全管理の徹底	<p>近年、園内・園外にかかわらず熱中症や誤嚥、交通事故、虐待等の子どもの命のリスクが高くなっている。</p> <p>そのような事故を未然に防ぐために、まずは園内で安全確認を行い、子ども達に安心して通ってもらうことができるような環境づくりに取り組んだ。</p> <p>今後は、子どもたちの新たな命のリスクに対して迅速に対応できるよう、職員間で細かく情報を共有することが必要である。</p>	<p>達成度</p> <p>A</p>
自主性を高める教育活動の取り組み	<p>近年、自分で考える・自分で決めるといったことが難しい子どもが増えており、当園でも自主性を持った子どもに成長してもらえるよう、教育活動に今以上に自由課題を取り入れた。特に進学に向けた5歳児の教育活動の中に多く取り入れた。</p> <p>自ら考えて行動するといった子どもたちは見られたが、職員間での教育目標の共通認識としてはまだ浅く感じるがあったため、今後も会議や研修で深めていくことが必要である。</p>	<p>B</p>
未就園児の子育て支援について	<p>未就園児教室は感染拡大前の実施回数を行うことができた。ただ、夏から秋にかけて暑さが厳しい日が続き、園庭遊びを制限することが増えてしまった。</p> <p>今後は、暑さ対策を行いつつ未就園児教室に多く参加してもらう仕組みを作っていくことが必要である。</p>	<p>B</p>

価格高騰について	近年の価格高騰や新型コロナウイルス感染症対策により、保育料等の負担額に変更はないが、実費負担が増えてしまった。今後は、特に電気料金の負担が大きく影響していることから、普段から節電を意識していくことが必要である。	B
----------	---	---

4、学校関係者の評価

保護者会において評価委員会を作り、概ね良しと判断されました。

5、財務状況 公認会計士監査により、適正に運営されていると認められている。